

道内唯一

北海道在来日本芝

# ホッカイターフ



11月になると地上部が枯れ、根が咲いた頃に芽吹きはじめる、「四季を感じる」芝生です。



10月の紅葉の様子



冬の様子

## 芝生の維持管理を軽減します

北海道在来種の日本芝(野芝)を培養した、雑草が混入しづらい芝生です。  
 本州産に比べ耐寒性に優れ、自社独自の越冬試験(稚内市、美幌町)で北海道の厳しい気候でも耐えることを確認しております。  
 草丈が極めて低く伸速も遅いため、草刈り回数や維持管理を軽減したい公園や道路など公共の場所から、ご家庭のお庭まで様々な用途におすすめです。

### 北海道の従来芝生との比較

名称	草種	年草刈数(回)	適応ph	芝の伸速	耐塩性	肥料要求度	草丈(cm)
ホッカイターフ	日本芝(野芝)	0~10	3.5~8.5	極遅い	◎	低	5~20
公園芝	ケンタッキーブルーグラス	5~60	6.0~7.0	中	△	高	30~40
栽培土工芝	フェスク類など3~4種混合	3~60	5.0~7.0	やや早い	○	中	60~100

土壌酸度適応性が  
 広いから海の近くでも生育可能。

管理がらくなので草刈りしづらい場所でも利用できます。



施工例

- **維持管理・草刈費を軽減したい場所に**  
 川の築堤・道路路肩・公園や広場・家の庭など
- **植物の育ちにくい場所に**  
 酸性土・海の近くのアルカリ性土の緑化
- **草刈りのしづらい場所に**  
 建物周辺や中央分離帯などの緑地帯
- **日本庭園などの四季を楽しみたいお庭に**

販売元